

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

金屬杆截斷裝置 (9年特許公告第567號、公告9-2-14、濠洲、フレデリック、ロバート、ホール) 任意の切斷面を有する金屬杆を截斷せんとする目的を以て被剪斷金屬杆の截斷面型を形成し且開閉する截斷用鑄型の1個を枠構内の廻轉體に又該鑄型と協同して剪斷作用を爲す鑄型の1個を枠構の一定位置に夫々設け前記廻轉體に運動を傳達する裝置が作動せらるゝ時前記2個の鑄型を閉塞すると共に兩者間に於て被剪斷杆の剪斷を行ふべくしたる金屬杆截斷裝置。

廻轉式微粉炭燃焼機の給炭粉碎裝置 (9年特許公告第612號、公告9-2-16、東京市、橋本卯吉) 給炭槽を高所に置くの必要なく低所に設置し投入勞力を省き粉炭を微碎粉と未碎粉とに自動的に分離し前者を遠心分撒に依り第二次空氣と相俟て燃焼室に給送し後者を再播碎し常に平均完全な微粉炭を供給し得べからしめんとする目的を以て電動機の一側に第一風道竝に下方に分離室を形成し該分離室の底部に播碎筒及び之れと下方にて連絡せる未碎炭落下筒を垂下し播碎筒内に播碎杆を具へ其の上部に固定の縦軸にフォームギヤを附し電動機の廻轉軸端のフォームと齧合し其廻轉軸他端に風車を設け之れを風道と連通せる風車覆にて被ひ該風車覆の下方に第二空氣吹付嘴を突設し其吹付嘴内に分離室と連通せる廻轉撒出筒を設けて在る廻轉式微粉炭燃焼機の給炭粉碎裝置。

鑄括み鑄造法 (9年特許公告第634號、公告9-2-19、東京市、株式會社日立製作所) 外輪の收縮に因り金屬片が大なる歪力を受けて彎曲し或は外輪に龜裂を生ずる缺點を一掃せんとする目的を以て内外兩輪の間に鐵板又は其他の金屬片を鑄括み鑄造する場合に鑄括みすべき金屬片を適當に豫熱膨脹せしめ置きたる後鑄括みを行ふ事を特徴とする鑄括み鑄造法。

軸承合金 (9年特許公告第645號、公告9-2-19、小倉市、福岡清) 硬度高く且つ摩擦抵抗の小なる優秀なる軸承合金を廉價に製出せんとする目的を以て Pb 60~90%、 Sb 7~25%、 Sn 2~30% に Li の 0.001~5% を含有せしめたることを特徴とする軸承合金。

附記 1. 上記々載のものに Cd 0.001~5% を含有せしめたる軸承合金。

2. 上記々載のものに Cu 0.1~3% を含有せしめたる軸承合金。

高時効化性アルミニウム合金 (9年特許公告第653號、公告9-2-19、化學研究所長) 焼入後短時間の自然放置又は低温焼戻によりて著しく硬化する處の即ち加工の際は軟質状態に於てなし加工後其儘放置するか又は必要に応じて更に熱處理及焼入をなしたる後自然放置或は低温焼戻によりて甚大なる硬度を生ぜしむる處の輕合金を得んとする目的を以て Cu 3.3~5.5%、 Co 0.4~2.5%、 Mn 0.6~3.5%、 Mg 0.5~2.0%、殘部 Al 及び之等の不純物を含有する高時効硬化性 Al 合金。

高焼戻硬化性アルミニウム合金 (9年特許公告第655號、公告9-2-19、化學研究所長) 焼入状態に於ては柔軟なるを以て加工容易に而して加工後低温焼戻に依りて著しく硬化する處の輕合金を得んとする目的を以て Cu 3.5~6.0%、 Mg 1.0~7.0%、 Mn 1.0~6.0% 殘部 Al 及び之等の不純物を含有する高焼戻硬化性アルミニウム合金。

金屬壓出裝置の改良 (9年特許公告第668號、公告9-2-21、英國、ダブリュー、テイ、ヘンリース、ワークス、コンパニー、リ

ミテッド) 熔融金屬推進に於て其受くる抵抗を減少し從て一定生産量に對する運轉動力を最少ならしむる目的を以て2個の相對的廻轉運動となす縱長同心片を備へ各片は其隣接面上に數多の突出筋を有し之により前記2片間の金屬を螺旋作用により推進する式の金屬壓出用廻轉推進裝置に於て前記2組の突出部は螺絲の形式をなし外片上の螺絲は内片上の螺絲と反對方向なることを特徴とする廻轉壓出裝置。

鑄成金屬性物質固形體の硬化方法 (9年特許公告第674號、公告9-2-21、東京市、三菱鐵業株式會社) 炭化 W を主成分とする燒成固形體を窒化硬化せしめて單に炭化 W を主成分とするものよりは一層至硬質にして且強靱なる工具用合金を得むとする目的を以て炭化 W を主成分とする微粉末混合物の燒成固形體に對し其の外部より 300°C 以下の溫度に於て豫め鹽化性瓦斯を使用せしめたる後 1,400°C 以下に於て窒化性瓦斯を使用せしむる燒成固形體の硬化方法。

マグネシウム又は其合金の防蝕方法 (9年特許公告第697號、公告9-2-21、東京市、古河電氣工業株式會社) 斯種金屬及合金の表面に簡易且極めて經濟的に夫れ自身防蝕效果大にして防蝕塗料の優秀なる下地となるべき皮膜を生成せしめんとする目的を以て第一 Mn 鹽と重クロム酸アルカリとアルカリ金屬の鹽化物、硫酸鹽、硝酸鹽、有機酸鹽又は過酸化水素、過硫酸鹽、過硼酸鹽等の一又は夫以上との混合溶液中に浸漬して其の表面に保護皮膜を形成せしむる事を特徴とする Mg 又は其の合金の防蝕方法。

金屬と非金屬との化合物よりなる電氣抵抗體に於ける電極形成法 (9年特許公告第707號、公告9-2-28、大阪市、奥浦源次郎) 化合物よりなる抵抗部分と電極體との接着を完全ならしめ以て在來の斯種電氣抵抗體の缺點とせる抵抗部と電極部との接觸抵抗の増大竝に接觸抵抗の爲に生ずる抵抗値の不安定を除去せしめんとする目的を以て電氣抵抗用の金屬條の兩端に夫々電極用金屬體を熔接其他の方法にて一體様に定着せしめ而る後之等全體を適度に非金屬物質と化合せしむる事により細小なる金屬條部は完全に化合せしめ其の兩端の比較的大なる金屬體は其の表部にのみ化合層を生ぜしめ此金屬體の端部の化合層を除き非化合物たる金屬を露出せしめて金屬電極部を形成せしむべくしたる金屬と非金屬との化合物よりなる電氣抵抗體に於ける電極形成法。

金屬カーボニルの熱分解による金屬製品の製造法 (9年特許公告第708號、公告9-2-23、東京工業試験所長) 金屬製若しくは非金屬製の器物若しくは型の表面若しくは内面に均質強固にして厚さ一様なる金屬皮膜を形成せしめ以て乾式鍍金或は鑄金を行ひ又その皮膜を離脱して極めて肉薄き管或は板を簡易に製造せんとする目的を以て Ni 、 Co 、 Fe 若しくは Mo 等の金屬のカーボニルの一種若しくは數種を物體又は型の表面若しくは内面に於て熱分解するに當りカーボニルを不活性若しくは還元性ガスを以て稀釋したる混合ガスをを用ひ該物體若しくは型を混合ガスの流れと反對の方向に移動せしめ又は之に回轉、振動、往復若しくは此等の複合せる運動を與ふることを特徴とする此等の金屬若しくは其の合金より成る金屬製品の製造方法。

チルド用鐵合金 (9年特許公告第713號、公告9-2-23、千葉市、青木運之助) 容易に鈍染的に表面硬化し表面に於ける硬度高く併かも強靱なるロール其他チルド製品を生ずべからしめんとする

目的を以て Mn 2.5~5%、 Si 0.7~3%、 Cr 0.5~2%、 Ni 0.5~2% 及 C 1~3.5% を含有し殘餘は主として Fe より成れるチルド用鐵合金。

骸炭爐の加熱方法 (9年特許公告第758號、公告9-2-26、白耳義國、ユニオン、シミツク、ベルジュ、ソシエテ、アノニム) 骸炭爐の加熱法を改良して局部の過熱を防ぎ且爐内の石炭を等齊に加熱すべくして其の加熱を一層有效且經濟的ならしむる目的を以て瓦斯及空氣の中一方を加熱用焔路の1個所より不變的に給入し他の一方を該加熱用焔路の高さを異にする2個所若くは其れ以上の異なる個所より給入すべくせるものに於て各個の焔路の異なる給入個所に於ける單位時間の燃焼に依りて生ずるカロリー數を二つの續ける反轉〔瓦斯體の流れの逆轉〕の間に包含せらるる各加熱期間の経過中に豫定せる或る法則に従ひて秩序的に變化せしむべくし然かも各個の焔路の全體に於ける單位時間の全カロリー發生數を常に不變ならしむべくするを特徴とする骸炭爐の加熱方法。

鑄造用芯型 (9年特許公告第769號、公告9-2-26、東京市、東京鋼材株式會社) 鑄造物が冷却收縮せんとするに當り芯型が却つて加熱膨脹するが爲めに鑄造物の内部に多量の内部應力が發生包藏せられ或ひは之が爲めに鑄造物に龜裂の生ずるを全く防止せんとする目的を以て頂面が鑄造面の一部を構成すべき楔状又は之に類似する駒を適量に壓迫して金屬製芯型の一部に挿入し鑄造物の冷却收縮に起因する壓力が芯型に加へらるるに當り該壓力の作用が前記駒の挿入壓力を超過せるとき駒が徐々に且自動的に亡抜することに依りて芯型全體が鑄造物の收縮に順應して收縮し得べからしめたることを特徴とする鑄造用芯型。

鑄括み鑄造法 (9年特許公告第770號、公告9-2-26、東京市、株式會社日立製作所) 溫度降下に伴ふ收縮に因り金屬片が大なる歪力を受け變形し或ひは内外輪に龜裂を生ずる等の缺點を除去する目的を以て内外兩輪の間に金屬片を鑄括み鑄造する場合に内外輪何れか一方に注湯し其の熱の傳導により鑄括みせらるる金屬片の溫度が豫定値に達したることを直接又は間接に確認したる後他方輪に注湯することを特徴とする鑄括み鑄造法。

鍍金用錫合金 (9年特許公告第803號、公告9-2-28、東京古河電氣工業株式會社) Cu 、 Fe 等に極めて鍍金し易き錫合金を得んとする目的を以て Hg 0.1~1.0% と殘餘として Sn を含有する鍍金用錫合金。

筒狀回轉鑄型に於ける鑄造物押出装置 (9年特許公告第820公告9-3-2、東京市、中島統一) 鑄造物の押出操作を容易ならしめ押出後湯止棒を迅速に原位置に復歸嵌合せしめ迅速に次の鑄造の準備を爲さしめ連續鑄造に適せしむる目的を以て鑄型の後端に湯止棒を進退自在に嵌合し鑄造物を押出す際に之を押出棒の桿頭端に自動的に軽く冠合連結せしめ置き押出棒後退の際に其の儘之を押出棒と共に後退せしめ原位置に復歸嵌合せしめて押出棒のみを鑄型より離脱せしむる如く爲したる筒狀回轉鑄型に於ける鑄造物押出装置。

連續鑄造装置 (9年特許公告第821號、公告9-3-2、東京市、中島統一) 小數の鑄型を迅速に取替へ1個の取瓶を殆んど連續的に使用して取瓶内の湯に冷却の時間を與へず始終殆んど同質の鑄造物を得しむる目的を以て數個の鑄型を回轉臺盤上に放射狀に排列し順次に取瓶の前面に回轉せしめ其の都度取瓶の注出口部を上下せしむると共に導湯樋を進退せしめて取瓶と鑄型とを連結離脱せしめ順次に鑄造し回動臺盤の回動中に鑄造物を押出す如く爲したることを特

徴とする連續鑄造装置。

銲接による管の接合装置 (9年特許公告第842號、公告9-3-5、獨國、エリウス、クレツペル) 可撓性にして且強度大なる堅牢の管の接合装置を簡易に得んとする目的を以て接合管の承口内に嵌ませしめたる管端に外方に向へる折曲線を設け且該折曲線上を承口の自由縁部が曲成被覆せる管の接合装置に於て承口端部が断面S字狀の形態を有し且環狀空室を形成し該環狀空室内に中心の一致せる曲成突出部(zentriemase)として形成せられたる折曲縁部が嵌合せることを特徴とする銲接による管の接合装置。

ディーゼル内燃機關用燃料 (9年特許公告第861號、公告9-3-5、英國、イムペリアル、ケミカル、インダストリス、リミテッド) 機關の馬力を増加すると同時に燃料油の消費量を低減し且つ内燃室の壓力低下することに依りてピストンに與ふる撞衝作用を輕減する効果ある起爆性を有するディーゼル内燃機關用燃料を得んとする目的を以てクレオソート油又は石炭の水素添加に依り得たる重油に分子中2乃至4の炭素原子を含有する硝酸アルキルの少量を注加して製出せるディーゼル内燃機關用燃料。

電弧銲接用シルジンプロソンの被覆電極棒 (9年特許公告第862號、公告9-3-5、神戸市、株式會社神戸製鋼所) 電弧銲接に際しシルジンプロソンの酸化及蒸發を防止し以て確實なる銲接を行はんとする目的を以てシルジンプロソン線條の表面に珪酸、第一酸化銅、第二酸化鐵、重炭酸曹達、炭酸曹達、硼砂、鹽素酸加里及炭素粉末を適當の割合にて配合したるもの珪酸曹達稀釋液の如き粘着劑を以て附着せしめて成る電弧銲接用被覆電極棒。

重油燈油を主要原料とするガソリン代用燃料 (9年特許公告第864號、公告9-3-5、東京市、倉科鐵太) 發火點高き重油燈油等を主要原料として内燃機關に使用して始動迅速にして完全燃焼し固結炭を遊離することなき優良なるガソリン代用燃料を廉價に供給せんとする目的を以て重油又は燈油若くは其の兩者の混合物を主要原料とし之にアルカリ液中を通過せしめて酸分を除去したる木瓦斯を無水エーテルに充分に吸収せしめたるものと硝酸ナフタレンを無水エーテルに溶解せしめたるものとベンゾールとを混合して成るガソリン代用燃料。

裝荷導線製造法 (9年特許公告第865號、公告9-3-5、東京市、古河電氣工業株式會社) 燒鈍に依て裝荷導線を損傷することなくして其の導磁率を導線の全長に互り均一ならしめ以て通信能率を高上せしめんとする目的を以て磁性合金の線又はテープ等を心線たる銅線上に裝荷し此裝荷導線を其の磁性合金の再結晶溫度以上の溫度に於て加熱したる後更に約300°C以下の溫度に於て加熱する事を特徴とする裝荷導線製造法。

被覆銲接棒 (9年特許公告第877號、公告9-3-7、大阪市、岡田實) 銲接部の抗張力及延伸率を大ならしめ均質緻密なる銲着鐵を支へる目的を以て銲接棒軟鋼線の重量に對して Mn 0.5~1.5%、 Mo 0.3~5.0% を鑄造成分と共に軟鋼線に固着せしめたる被覆銲接棒。

附記 1. 滿庵にはフェロ滿庵、 Mo にはフェロモリブデンを代用し得るものなり。

硫酸アルミニウムに依るアムモニヤ吸收法 (9年特許公告第886號、公告9-3-7、東京市、加藤與五郎) 硫酸アルミニウムの製造に用ひたる硫酸を硫酸アムモニウム製造に利用して之を回收しアルミニウムの鹽基性鹽又は水酸化物を經濟的に製せんとする目的を以て硫酸アルミニウムを含む溶液に石炭或は油頁岩の乾溜又は不完全燃焼にて發生する如き稀薄のアムモニヤを含有する瓦斯を接

觸せしむることを特徴とする硫酸アルミニウムに依るアムモニア吸收法。

爐壁の改良 (9年特許公告第917號、公告9-3-9、英國、パブコック、エンド、ウイルコックス、リミテッド) 如何なる種類の燃料を用ひて如何に高熱に爐を作動するとも爐帯の異なるに連れて爐溫度を適當に調節し得るが如き爐壁を得る目的を以て一列の流體嚮導管と該管の軸平面に隣接して該管の相對側に設けたる數列の金屬突起鉗とを具へ管の長手に沿ふ一列の突起鉗は總て同一長さなる共隣接列の突起鉗は之れと異なる長さにおいて而も最長突起鉗を熱源より遠ざけて設けたる流體熱交換裝置の爐壁。

附記 (1) 本文に詳記する如く管に突起鉗を半徑位置に銲接し以て隣接管より突出せる隣接突起鉗を屈曲し依て其等の屈曲部を全部爐壁に並行ならしむる特許請求範圍記載の爐壁。

(2) 本文に詳記する如く管面を低溫帯に於て裸出し高溫帯に於て耐火物被覆になしたる特許請求範圍記載の爐壁。

(3) 本文に詳記する如く有間隔の壁管の兩側に頭付き突起鉗を銲接し而も之等の突起鉗を半徑位置に維持し次に隣接管上の隣接列に於ける突起鉗の端部を屈曲し依て之等の突起鉗を壁に沿ひて並行ならしめ而て之等屈曲突起鉗間に耐火性材料を裝備することを特徴とする特許請求範圍記載の爐壁。(4) は略す。

通信用電纜の線心撻合機に於ける線心張力の平衡裝置 (9年特許公告第919號、公告9-3-9、東京市、古河電氣工業株式會社) 多數の捲框を使用する場合に其の制動力の自働調整を容易に行ひ得せしめんとする目的を以て撻合せらるべき線心又は撻合線心を捲付けたる捲框に各自獨立せる制動調帶を設け之等制動調帶を環狀の制動力附與調帶に依りて聯絡したることを特徴とする通信用電纜の線心撻合機に於ける線心張力の平衡裝置。

鐵鹽とアルミニウム鹽との分離法 (9年特許公告第931號、公告9-3-9、東京市、加藤興五郎) 頗る簡単に純度高き硫酸アルミニウムを製せんとする目的を以て鐵鹽と共存するアルミニウム鹽の酸性溶液より硫酸アルミニウムを結晶せしむる事を特徴とする鐵鹽アルミニウム鹽との分離法。

船底塗料 (9年特許公告第937號、公告9-3-9、大阪市、東亞ペイント製造株式會社) クロルベンゾールの毒性を利用して海中生物の附着を完全に阻止し防汚效力極めて優秀なる船底塗料を安價

に得んとする目的を以てベンゾールの鹽素化合物の一種又は數種を主要毒物とし之れと銅、亞鉛、砒素、鐵の金屬粉、酸化物又は化合物の一種若くは數種との混合物を着色顔料及ベヒクルと練合して成る船底塗料。

附記 1. 前記の目的を達する爲め之れに水銀又は其の化合物を毒素として添加する請求範圍記載の船底塗料。

特許拔萃

特許 番號	名 稱	特許 權 者	公告拔萃本誌 記 載 番 號
104468	鋼又は其合金を鑲着する齒科用金鑲	大 塚 豊 美	第19年7號
104448	海水に對する耐蝕性大なる窒化合金	三菱造船株式會社	第19年10號
104479	防 彈 鋼	株式 神戶製鋼所 會社	
104470	回轉磁場誘導電氣爐	田窪彦一 外一名	
104553	銅鐵亞鉛合金	日本特殊金屬工業 株式會社	第19年10號
104583	石炭低溫乾溜裝置	(インテルトリユスト) コ ムパニー、ゼネラル、フ、 ジスチラシオン、エ、コケ フアクシオン、ア、パーズ、 ダンベラチユール、ミニエ ール	
104616	ハロゲン水素酸の腐蝕に對し抵抗し得べき構造材料	ヘルマン、フリツ シエル	
104634	七寶製造法	日本 化學株式會社 漆器	
104674	鑽石又は製煉生成物を連續的に處理する方法	メタルバンク、ウインド、メ ダラーギツシエ、ゲゼルシ ヤフト、アクチエンゲゼル シヤフト	
104693	鋼線連續熱處理爐	關西製鋼株式會社	
104733	錫を金屬錫に鐵を低級酸化物としたる後銅鹽を主とする溶媒を以て處理する錫石鐵の處理方法	化學 研究所長	第19年11號
104732	熱處理に依り硬化せしめたる銀合金	同 上 同 上	
104753	高温にてアルミニウム上に化金屬を鑲着する方法	藤 井 毅 太 郎	第19年9號
104802	點火器用燃料の製法	イー、ゲー、フアルベン ツストリー、アクチエンゲ ゼルスヤフト	
104854	マグネシウム及マグネシウム合金の熔劑	遠 藤 岸 郎	第19年9號
104835	電氣爐用電極の電力導入端子自働移動裝置	ソシエテ、エレクトロ、メ ダラーヅク、ド、モントリ シエ	
104862	煉炭製造法	小野澤辰五郎	